

マイクロダイアリス配管の洗浄方法

データの精度を落とさないためにも **サンプリング終了後は毎回** 行ってください。

1

準備品

- ・注射針付き 1 or 2.5mL ディスポシリンジ (**ニードル先端をフラット** にカットしておきます)
- ・蒸留水
- ・メタノール
- ・台所用漂白剤 (界面活性剤を含む塩素系漂白剤、刺激臭のないものは十分な効果が得られません)

調整方法

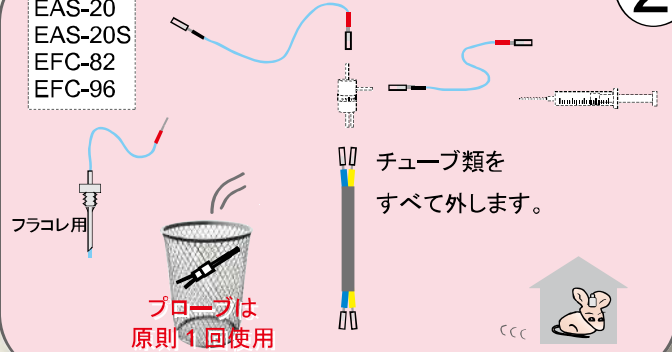
台所用漂白剤を蒸留水で 50 ~ 100 倍に希釈し、ディスポシリンジに入れます。

(希釈後は **24 時間以内** に使い切る)

※ 塩素成分が揮発しているおそれあり

2

EAS-20
EAS-20S
EFC-82
EFC-96

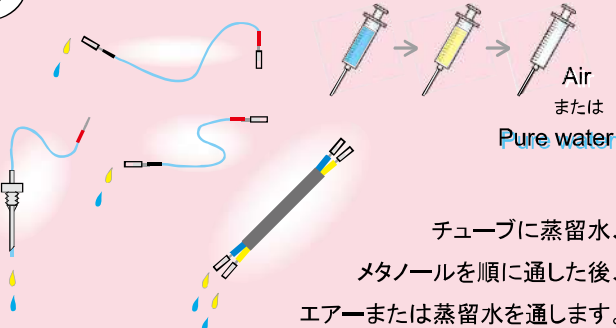


チューブ類を
すべて外します。

プローブは
原則 1 回使用

3

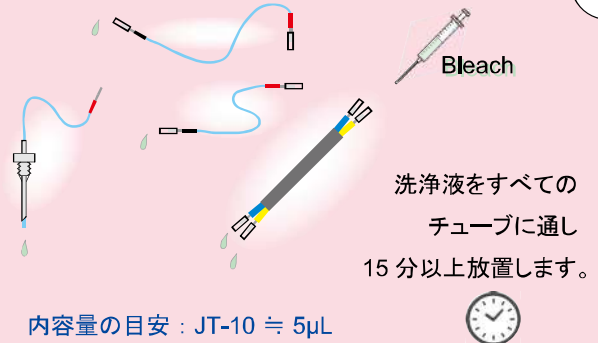
Pure water Methanol



チューブに蒸留水、
メタノールを順に通した後、
エアまたは蒸留水を通します。

4

Bleach

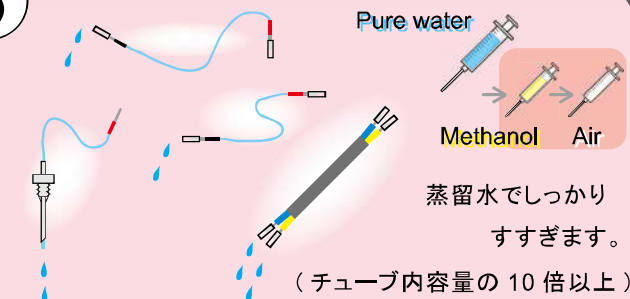


洗浄液をすべての
チューブに通し
15 分以上放置します。

内容量の目安 : JT-10 ≒ 5μL

5

Pure water



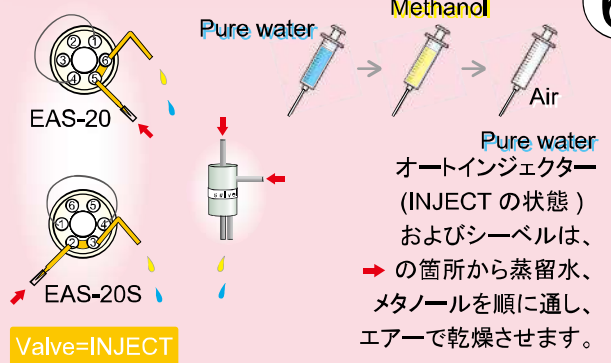
蒸留水でしっかり
すすぎます。

(チューブ内容量の 10 倍以上)

長期保管 : 最後にメタノールを通し、エアで乾燥

6

Pure water Methanol



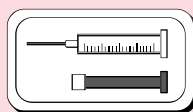
オートインジェクター
(INJECT の状態)
およびシーベルは、
→ の箇所から蒸留水、
メタノールを順に通し、
エアで乾燥させます。

Valve=INJECT

7



ガスタイトシリンジは蒸留水で
しっかりすすぎ、プランジャーを
抜いて乾燥状態で保管します。



脂溶性物質を入れた場合は、
メタノール洗浄などを先に行ってください。

注意 チューブ内部が詰まりますので、リング液など
(塩を含んだ溶液) で **長時間放置しない** ください。
一度詰まるとほぼ解消させることができません。

in vitro 回収率測定の場合、ジョイント用バイトン
チューブは **必ず新しいもの** をお使い下さい。

漂白剤洗浄を行った後のバイトンチューブに吸着を起こす物質があります。生体成分が含まれているとこの吸着現象は抑制されます。漂白剤洗浄後のバイトンチューブを使う必要がある場合は、バイトンチューブにアセトンと通す (数 10 秒以内) と吸着を防ぐことができます。

- 本メンテナンスを行うことにより、数ヶ月程度チューブを再利用することも可能になります。



株式会社 **エイコム**